

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	平成31年度第1回政策会議
開催日	2019年(平成31年)4月11日(木) 8:30~9:40
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長, 小野副市長, 宮治副市長, 平岩教育長 (政策会議委員) 総務部長, 企画政策部長, 財務部長, 防災安全部長, 市民自治部長, 生涯学習部長, 福祉健康部長, 保健所長, 子ども青少年部長, 環境部長, 経済部長, 計画建築部長, 都市整備部長, 道路河川部長, 下水道部長, 市民病院事務局長, 消防局長, 教育次長, 教育部長, 議会事務局長, 監査事務局長, 農業委員会事務局長, 選挙管理委員会事務局長
議 事	(1) 議題(審議事項) 1 平成31年度6月補正予算の編成方針について(財務部) (2) 報告・情報提供等 ア 改元に伴う元号による年表示の取扱いについて(総務部) イ 市議会議員の改選に伴う諸事業について(総務部) ウ 平成31年度防災訓練等年間計画及び風水害・都市災害等対策における配備体制について(防災安全部) エ 団地再生に向けた地域と連携した取組の推進について(計画建築部) オ 神奈川県知事・神奈川県議会議員選挙の執行結果について(報告) (選挙管理委員会事務局)
内 容	1 開会 2 市長あいさつ ○今年度初めての政策会議である。新たに政策会議委員になられた方には、よろしくお願ひしたい。今年を表す漢字一文字は「期」とした。様々な面で節目の年であるとともに、市政運営の総合指針2020や行財政改革2020など、その達成に向けて道筋をつける重要な年でもある。さらに、5月から新元号「令和」に改元されるとともに、ゴールデンウィークの期間は10連休となるなど、例年と違う年でもあることから、市民生活に影響がないように十分な準備をして臨んでいただきたい。 3 議事 (1) 議題(審議事項) 1 平成31年度6月補正予算の編成方針について

内 容	<p style="text-align: right;">(説明者：財務部長)</p> <p>□財務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>≪内容≫ 平成31年度6月補正予算を編成するに当たり、6月補正予算編成方針について報告するもの。</p> <p>≪主な意見等≫ なし。</p> <p>≪結果≫ 了承。</p> <p>(2) 報告・情報提供等</p> <p>ア 改元に伴う元号による年表示の取扱いについて</p> <p style="text-align: right;">(説明者：総務部長)</p> <p>□総務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>≪内容≫ 2019年4月1日に新元号「令和」が発表されたことに伴い、2019年4月5日付けで通知を行った「改元に伴う元号による年表示の取扱い」について情報提供をするもの。</p> <p>≪主な意見等≫ なし。</p> <p>イ 市議会議員の改選に伴う諸事業について</p> <p style="text-align: right;">(説明者：総務部長)</p> <p>□総務部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>≪内容≫ 市議会議員の改選に伴い実施される市政説明会、公共施設視察等への対応について依頼するもの。</p> <p>≪主な意見等≫ ○資料1 市政説明会のスケジュールについて、各部局の時間割などについては、いつ頃決定するのか。 ⇒時間割については、前回に倣った順番を考えているが、予定が合わない場合は調整する。また、各部局への割当て時間についても、前回に倣った時間を想定しているが、調整が必要な場合があるとも認識をしている。 ⇒本日午後の総務主管者会議において、前回の実施状況等について説明し、今回の市政説明会割振り(案)について示す予定である。</p>
-----	--

<p>内 容</p>	<p>○前回の市政説明会については、会場が狭く、部局長だけでの対応を求められた。今回は、関係課長等と一緒に出席し、質疑対応や説明を行ってもよいか。</p> <p>⇒会場の広さに余裕があるので、今回の市政説明会については、出席者等は各部局にお任せする。</p> <p>ウ 平成31年度防災訓練等年間計画及び風水害・都市災害等対策における配備体制について</p> <p style="text-align: right;">（説明者：防災安全部長）</p> <p>□防災安全部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>平成31年度に実施を予定している各種防災訓練等の日程及び災害時配備計画体制（風水害・都市災害・地震・津波等）について説明するもの。※オリンピック開催に向けた危機管理対策訓練は、2月頃を想定。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○各指揮本部の図上訓練については、今年度は国民保護を対象に実施する。地震災害等などについては実施しないが、各指揮本部長が変更となっている部局などにおいては、国民保護の訓練時など、地震災害等を想定した訓練についても、各指揮本部で工夫していただきたい。例えば、下水道部と環境部で、「水道は復旧したが、下水道が復旧しない場合や下水処理場が機能しなくなった場合には、避難施設におけるトイレゴミの状況が大きく変化すること。」など、各指揮本部間で調整を要するテーマを想定し、自らの課題として捉えるなどの工夫をしていただきたい。また、保健所と医師会の活動との連携なども今年度のテーマとして十分に調整いただくとともに、危機管理課との連携・調整を十分行った上での訓練を実施していただきたい。繰り返しとなるが今年度の各指揮本部図上訓練は、東京2020大会開催を踏まえた国民保護訓練として実施していくが、その他の災害対応に係る訓練についても、よろしく願いたい。</p> <p>エ 団地再生に向けた地域と連携した取組の推進について</p> <p style="text-align: right;">（説明者：計画建築部長）</p> <p>□計画建築部長から、資料に基づき情報提供が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>「藤沢市住宅マスタープラン」の重点施策4「団地再生に向けた地</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>域と連携した取組の推進」について、2019年度は湘南ライフタウンを具体的事例として、団地再生に向けた関係者との協議の場の設置を目指すとともに、今後、多種多様な課題に対応する必要があることから、庁内各課に協力を依頼するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○こうした取組については、市民センターとの連携が必要になるので、早い時期に意見交換の場を設けていただきたい。</p> <p>⇒湘南大庭市民センターには、多くのことでご協力をいただくことになることから、早速、スケジュール感なども含め意見交換させていただきたい。</p> <p>○湘南大庭地区で、地域の人がどのような取組を進めているのか。又、どのような議論があるのか。市民自治部、福祉健康部など、庁内の調整や情報収集して進めていただきたい。</p> <p>○協議体あるいは会議体を設置して課題図を作成するとあるが、最終的には再生計画を策定するのか。又は、課題解決のための取組について協議会を通じて実践していくのか。</p> <p>⇒まずは、課題の洗い出し、課題解決の検討をする。マスタープランの下位の計画・アクションプランを策定していくことになる。予算を伴ってどう展開していくのかなど、多くの部局にも関係してくる。住宅政策課だけでできるものでもない。課題を抽出した上で、どういう方向でライフタウンを再生していく必要があるのか。例えば、若い人にどうやって入ってきてもらうのかなど、施策として計画していくことまで想定している。</p> <p>○湘南ライフタウンをモデルケースとしてとあるが、市内各地域で、同じ問題を抱えているところがある。施策として具体的に展開するのか。検証した上で、市内全域で順序立てて施策を展開していくのか。あるいはモデルケースとして課題の抽出を行うのか。</p> <p>⇒モデルケースとして課題を抽出するが、最後は全体に広がっていくものと考えている。例えば、単体の団地という意味で捉えれば、市内各所にある。湘南ライフタウンは、モデルケースであるとともに、多くの課題がある地区だと認識していることから、しっかりと検証した上で、どういうことができるのか定めていきたい。</p> <p>○湘南大庭、善行団地、辻堂団地については、UR側にも地域包括ケアシステムに関連する部署があり、これまで本市と連携・調整を行ってきた経緯がある。住宅政策課においては、地域包括ケアシステム推進室と連携できているか。また、これまでの協議体でも団地づ</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>くりの検討はしている。新たな協議体を設立するとなると地域も大変である。現在、動き出しているものを上手くまきこんでいただくことで、地域包括ケアシステム推進室も一緒にやっていけるのではないかと。</p> <p>○2019年の秋ごろに協議体の設置とあるが、課題の抽出やアクションプランはいつごろまでにやるのか、スケジュール感について確認させていただきたい。</p> <p>⇒難しい課題なので、そう簡単にはまとめられないのではないかと認識しているが、2020年度には、なんとか形にしたいと思っている。</p> <p>○この手の話題は、藤沢市がオリジナルで抱えている課題ではないのではないかと。例えば、多摩ニュータウンなどの事例も有名である。ほかにも研究されているものもたくさんあるのではないかと。本件については、ゼロから職員がつくっていくような流れだが、そのあたりはどのように認識しているのか。</p> <p>⇒ご指摘のように多摩ニュータウンとか港北ニュータウンなど、URにより大きな団地造成がされてきたところであり、同じような課題が顕在化し、実際に対策も行われていると認識している。すでに住宅政策課で視察やヒアリングも実施している中で、参考になるものは参考にしていくものである。全くゼロからの取組ではないが、ライフタウン固有の課題もある。単純に再生するのではなく、できればその先を目指したい。これからの高齢少子化のなかで人口を維持していくにはどう対処していかなければならないのかということも踏まえ、考えていきたい。</p> <p>○大きな課題なので、じっくりと整理し、しっかりしたものを作っていかなければいけない。また、様々な課題があるなかで、割合と手近にできるものもあり、そういった意味ではスピード感も重要になってくる。計画を策定するステップを待つのではなく、市民や地域においてできることは平行して進めていただきたい。</p> <p>⇒課題が大きく、何の話かわからなくなることもある。個別の顕在化している課題ですぐに手を打てるものについては、対応していきたい。今やっていることを少し変えればできることは、対応を適宜していきたい。</p> <p>○組織ができて、議論が始まる前の段階で、いつまでを目途にまとめるのか。会議のスケジュールが1年の会議なのか5年の会議かでは対応が違うものである。議論を始める時までには、整理いただきたい。</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>い。庁内の各課が関わっていくことになる。課題となる各分野のスケジュール感のなかで進めていくのかなどを意識するとともに、しっかりと検討をしていただきたい。市民自治部長から発言があったように、具体化する事項が見えてきたときに、具体化する主体は住宅政策課が担う部分は少ないかもしれない。庁内組織で検討したところから、各部局が一人称で動き出す意識をし、そのような視点で検討したほうがよい。例えば、市民自治部が対応できるのに、他は対応しないなどスピード感に違いがでてしまっはいけない。全庁でスピード感を持って対応するとともに、ぜひ、各部局が一人称で進めていただきたい。また、湘南大庭のエリアは、県、公団、民間（賃借・戸建て）など、他に例のないほど様々な主体が集合している。そういう意味では、大変興味深くかつ重要な研究・検討でもある。全庁的に共有し進めていただきたい。</p> <p>オ 神奈川県知事・神奈川県議会議員選挙の執行結果について（報告） （説明者：選挙管理委員会事務局長） □選挙管理委員会事務局長から、資料に基づき情報提供が行われた。 《内容》 2019年4月7日執行の神奈川県知事・神奈川県議会議員選挙の結果について報告するとともに、2019年4月21日に執行される藤沢市議会議員選挙への協力依頼をするもの。 《主な意見等》 なし。</p> <p>4 その他 5 閉会</p>
------------	---